

立命館大学文学部卒業論文題目

哲学専攻

「飢え」の哲学

—エマニエル・レヴィナス『時間と他なるもの』
における孤独— 相澤 佑佳

フロイト親子にみるパーソナリティの形成と歪み 石川めぐみ

人は道徳的であるべきか 萩田 歩

M・ハイデガーにおける人間存在と自己 小田切建太郎

アナクサゴラスについて 折田 皓亮

人間と人形 柿花 利枝

アウグスティヌスの改宗について 加納 正玄

形式論 鎌田 周平

—ヴィトゲンシュタインにみる公理の可能性— 國石 麻実

現代に生きる身体 國石 麻実

自然物の生存権に関する考察 嵯峨 明

—東洋思想をもとに— 嵯峨 明

ヴァーチャルと存在としての差異 佐竹 雄太

無限の他者性 佐野 哲也

—レヴィナスの他者論をめぐって— 佐野 哲也

「教育としてのかかわり」についての考察 杉浦 翔

—ルソー『エミール』をもとに— 杉浦 翔

童話から見るユング心理学 長松 冬佳

時間について 林 好一

—ベルクソンの時間論の考察と批判— 林 好一

オリジナルとは何か 久川 典子

—音楽の観点からみる思想について— 久川 典子

「自然と権利」概念についての考察 日高 匠

—クリストファー・D・ストーンを中心に— 日高 匠

精神障害の歴史 平木 佑奈

—ミシェル・フーコーを中心に— 平木 佑奈

言語的側面における閉塞感について 藤井 裕子

アール・ブリュットの定義について 藤井 裕子

—創作者デビュッフェの活動から— 藤川美由貴

ヒュームにおける道徳判断について 藤原 良啓

哲学と生きること 細見 涼介

哲学者ニーチェにおける精神の三段の変化について 三田 恭裕

教育についての倫理 三田 恭裕

—ケアリングの倫理と教育への実践— 三田 陽平

「生命の質」と「生命の神聖性」をめぐる考察 柳澤佳那恵

—安楽死問題を中心に— 柳澤佳那恵

人間と言語 横山 美紀

『パスার্ージュ論』における不純物への哀悼的想起 横山 美紀

石川 聡子

石川 聡子

ガヤトリ・チャワラヴォルティ・スピヴァワから
カルチュラル・スタディーズを考える

—「サバルタンは語ることが出来るか」を通して—

金山 知世

リクルールの隠喩論 相澤 統彦

コミュニタリアニズムの擁護 杉森 理史

カントの人格論から考える国家間の干渉 吉田 篤史

『創造的進化』とその時代の進化論 木村 耕平

レヴィナスの主体と他者の関係についての試論

—デカルトの第三省察とアウシュヴィッツを踏まえ

て— 水野 宏信

教育人間学専攻

学校教育における学級集団の教育的意義

—小学校での現場研修から見えたこと— 有馬亜紀子

幸福論の試み 安 淑圭

—感情からのアプローチ— 安 淑圭

スチューデント・アパシーに関する一考察 安藤 友恵

「頑張り」教育から「ともなう」教育への実践に関

する研究 —動作法をもとに— 生田 香澄

中学校における英語教育の変遷と課題、可能性 石山 晃也

自己愛という能力—その可能性の発見— 伊藤 阿美

青年期における友人関係の成立と展開 稲 慶子

—「友達」になる人・ならない人— 稲 慶子

バレーボールと無心 稲田 葉子

稲田 葉子

稲田 葉子

- あきらめるといふこと
今村 達典
- 思春期における部活動と自己形成
—自己肯定感を高くむ支援の在り方—
植村 一敏
- 「被包感」を育む家のあり方
内田 真央
- 自傷行為に関する考察
太田 恵子
- 非専門家による対人援助活動の実効性について
—学生ボランティアの取組みから—
大場 智絵
- 音楽と癒し
—セラピュートイック・ミュージックの可能性—
岡田 悠
- 地域コミュニティの充実
—自主防災組織の促進—
岡部 孝博
- 通常学級における発達障害をもつ児童への支援の在り方
奥村 早絵
- 沖繩と心理療法
—場所と存在の観点から—
尾曲 真実
- 幼少期の審美体験がその後の人間形成におよぼす影響について
河嶋 彩
- ルネサンス期の絵画から読み取る心理効果
—ボッティチェリ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロを取り上げて—
木ノ切美那子
- 自己肯定感の探究
—「かけがえない自分」に焦点づけて—
楠野 歩
- 歌とは気持ちか
久保田 翼
- 現代における信頼関係に関する一考察
—「待つ」という視点から—
倉澤 秀之
- 子どもと物語
—教育と自己形成の観点から—
小林 絃子
- 「萌え」と癒し
—「萌え」による心理的癒しの効果—
佐伯 聡
- 食育から何を学ぶか
—学校給食に焦点をあてて—
佐々木綾美
- 幸せとは何か
愛されていると感じること
—心の闇と親子の絆—
高松 遥香
- 自己を見つめる瞑想
—未来へ生きる知恵を求めて—
竹林利沙子
- 「言葉」
わたしが写真を撮るといふこと
—生きるということ—を問う
—夏目漱石が描く「自己本位」の境地から—
田中 愛
- 現代における父親の役割についての一考察
谷 天久斗
- 学級集団における規範の教育的意義
辻 かな子
- ハンドボールにおける心理的状況
津田 邦恵
- 人間の関係性に関する考察
—マルティン・ブーバー『我と汝』を中心に—
富田 彩
- 体癖から見る教育の可能性
人間形成とつながる郷土愛
—経験を通して認識されゆく人間存在をめぐって—
内藤 仁美
- アタッチメント —親子の絆—
関係性の探究
西川 桜子
- 西平 希
- 平田 尚子
- 苦悩するということに関する一考察
—フランクフルの人間観と実存的空虚感をもとに—
藤井 和仁
- 部活動と人間形成
—部活動における教育的意味—
堀井 亮宏
- 心身相関から見た癒しのあり方
交互色彩分割法の家族成員間への適用
—コミュニケーションの手段としての有効性—
松岡由梨加
- 学童期における異年齢集団活動
—社会性を培う支援の在り方—
丸山 愛由実
- 青年期女子のやせ願望
—自己評価と自己受容にむけて—
向井恵里奈
- 居場所の所在
—子どもたちの居場所づくり—
村上 大樹
- 行と心理療法
スポーツを通しての人間形成
触 —生身の人間として—
山根 毅士
- 仮想的有能感とインターネット
中国における家庭教育について
—一人っ子政策をめぐる諸問題—
吉澤 政和
- 中国の学校における日本語教育及び今後の課題について
—日本と中国の相違点に着目して—
托 姫
- 高校における職業教育の比較研究
—「空気を」手がかりとして—
馬 宏言
- 馬 芊芊
- 小林 純一

ライフ・シーン

日本文学専攻

— フーコーの「生存の美学」研究 —

蒲生 諒太

mixi

清水多恵子

与謝野晶子『みだれ髪』論

「受容」へのプロセス

高橋 俊二

— 歌に詠まれた「髪」 —

青木 知世

— 物語ることによる自己の再構築 —

高橋 俊二

ネーミングとその効果

赤松 寛史

自己肯定感と心を開くということ

中井友紀子

墮地獄蘇生譚についての一考察

東 裕未

— 親子関係から他者との関わりへ —

野中 美希

龍の都 — 天井絵へのアプローチから —

飯田 麻美

証 — 私と母の関わり —

野中 美希

『やまなし』

石井 瑞季

公立中学校通常学級における発達障害のある生徒への支援

野中 美希

— 谷川の底の世界に賢治が表現したもの —

石塚 恵奈

への支援

船越 香織

尾崎紅葉『金色夜叉』考

石山 裕人

— 個と集団へのアプローチ —

船越 香織

戦後の朝鮮半島と日本

稲田麻依子

ドメスティック・バイオレンス克服の諸課題について — 被害者のサイバー化と加害者の脱暴力化 —

舟崎あき恵

『夜の寢覚』の研究 — 雪・雨の世界 —

稲田麻依子

怒りに関する人間学的考察

舟崎あき恵

— 三代目桂米朝を中心に —

乾 まどか

— 自己愛の視点を中心に —

公丈 優子

幸若舞曲「伏見常盤」の精神風景

上田 綾香

カウンセリング場面におけるバウムの変化

公丈 優子

— 木幡峠の境の神をめぐって —

上田 綾香

— 模擬面接を通しての一考察 —

長谷川康子

『夜の寢覚』における「時」を表す言葉

内田 怜七

韓国における児童虐待

長谷川康子

— 「夜」を中心に —

内田 怜七

— 放任（ネグレクト）について —

李 娟姫

京都迎賓館

梅沢 彩花

現代における「社会的オジ」の存在意義について

李 娟姫

平安朝物語における「梅」と「桜」

梅原 彩花

— 教育的関係の再発見に向けて —

阿部 裕子

『百鬼夜行絵巻』考

遠藤 詩織

交流教育の在り方と効果的な実践方法

阿部 裕子

『夜の寢覚』 対の君に関する考察

大町 成美

— 通常学級と特別支援学級の交流に焦点をあてて —

田野澤千尋

九州方言の「ゴトシ」表現

岡本 亮

障害児のきょうだいの育ちと支援

東 久美

— 宇久方言の記述的研究から —

門屋 飛央

— 小学校における漢字指導のあり方を考える —

東 久美

— 小学校における漢字指導のあり方を考える —

金谷 直輝

谷崎潤一郎『刺青』

— 「ほんたうの美しい女」の追究 —

神尾絵理香

六条御息所考 — 死霊出現をめぐって —

瓦井 裕子

「たのし」の意味変化

神原由里江

聖衆来迎寺蔵「六道絵」について

菊池 俊佑

— 「人道不浄相図」を中心に —

岸本 史子

『伊勢物語』の研究 — 翁という視点から —

切原 葵

川端康成『眠れる美女』論

小瀨 美保

江戸期の河童像形成要因に関する一考察

小松 優子

『黄泉国』と『黄泉比良坂』

近藤 寛利

— 『古事記』『日本書紀』の他界観について考える —

近藤 裕美

明石の人丸信仰 — 海上守護を中心に —

近藤 寛利

記紀歌謡・万葉集にみえる天皇の表現について

近藤 裕美

『夜の寢覚』の大君像

後藤 由圭

— 姉妹の物語の視点から —

後藤 由圭

新井紀一論 — 労働者から労働文学作家へ —

雑賀 夕介

小川未明『赤い船』小説から童話へ

坂村彩季子

饗庭篁村『むら竹』論

穴戸 和敬

川端康成『雪国』

篠原 由佳

— 『雪国』にみる非現実性 —

下 今日子

『舞姫』作品論

下 今日子

女神輿やまぶき会の文化形成とその可能性

下 曾山遥子

— 百年後の文化となるために —

下 曾山遥子

鳥の呪力 — 鎮魂儀礼の側面から —

下山 茜

前期『万葉集』における殯宮挽歌が歌われた

〔場〕についての考察

夏目漱石の文体論について

村上春樹『国境の南、太陽の西』論

小学校国語教科書におけるオノマトペの研究

鳥獣人物戯画における獣の表現についての一考察

飛翔に関する考察―神仙の存在を通して―

芥川龍之介「羅生門」

―下人に盗みをさせたもの―

新聞・経済面における20年間の語彙の変遷

江戸川乱歩『押絵と旅する男』論

『火垂るの墓』―兄妹愛について―

『天稚彦草子』に関する考察

新美南吉「ごん狐」の世界

―「ごん」の死について―

村上春樹『ノルウェイの森』論

―村上の試みへの考察―

川端康成『雪国』

―島村にとっての現実・非現実―

三島由紀夫『金閣寺』論

谷崎潤一郎『猫と庄造と二人のをんな』に関する

一考察

京都府城陽市寺田の夜叉婆さん伝説

―水神の信仰と畏怖の対象―

浮世絵に込められた北斎の心

―挿え物を中心に―

梶井基次郎『桜の樹の下には』論

滋賀県虎姫町の虎御前

―あるき巫女「トラ」の足跡を辿って― 長谷川斎華

『美少女戦士セーラームーン』にみる少女漫画誌

の物語空間

三田誠広『僕って何』論

芥川龍之介「秋」論

『夜の寝覚』の予言

賀茂社の丹塗矢伝承について

『坊ちゃん』考

―「坊ちゃん」と清を中心に―

『破戒』論

―空間から読みとる「差別」について―

物語文学の結婚 寝覚・源氏において

『二筋の血』論―二つの血の記憶―

『夜の寝覚』の女主人公

―「弱」く「強」い女性像―

需要的観点から見る日本文学とその展望

和泉市久保惣記念美術館蔵「伊勢物語絵巻」論

四段の研究

鬼と芸術家―説話の中で生きた博雅―

宮尾登美子『權』論

野球界における新語についての過去、現在と未来

桜庭一樹作品論

―「ライトノベル」と「純文学」の間―

西野 裕子

橋本 理沙

長谷川斎華

濱砂 浩子

樋口 達也

福田 ひめ

松岡 絢子

松原 愛美

三木 清花

宮岸 洋輔

村上 剛志

村山和香菜

望木 智代

森田 雅大

森田 裕

矢野 緑

山口 亜希

山口 良介

山崎 志保

横洲 有厚

横山 美恵

横山 緑

吉永 敬志

渡部 友美

渡邊 容子

王 強

倪 莹莹

『夜の寝覚』における月の描写

香川県志度町の海人伝説 志度の海の伝承世界に

ついて

長野市戸隠・鬼無里地区における鬼女紅葉伝説の

形成

梶井基次郎『檸檬』の中の丸善

芥川龍之介『羅生門』

―「羅生門」のモラルとエゴイズム―

夏目漱石『夢十夜』論

『蛇にピアス』をみつめる

―身体論への思考―

日本語文法―日本語教育における格助詞「二」の用法―

万葉集巻頭歌についての考案

『李陵』―原典との比較を通じて―

森田草平「初恋」考

梶井基次郎『のんきな患者』論

『無名草子』の研究

―源氏物語論を中心に―

「君死にたまふことなかれ」をよむ

―晶子の想い、詩の力―

内田百閒「山高帽子」論

澁澤龍彦「夢ちがえ」論

―望桜の二重と夢―

樋口一葉『わかれ道』考

北條民雄「いのちの初夜」論

―生きるということ―

安岡章太郎「海辺の光景」論

植村 聡美

近江 康

井上 尚美

嶋田 哲也

千種 一弘

中川 晶子

藤澤 絃子

牟田 悠

山本和香子

志方 大悟

弘瀬ひろみ

村上春樹の「国境の南 太陽の西」について

松本 有加

石川啄木『一握の砂』論

川島 知子

梶井基次郎『冬の日』の空

木村 仁美

村上春樹論 — 『海辺のカフカ』に見られる

鶴亀 雄太

心象世界がもたらすもの —

堀口 弘志

森鷗外『舞姫』論

宮上 優

「たのし」の語彙論的意味

平野 策三

東歌にみる歌の東西交流

小出早紀子

山本周五郎『柳橋物語』『五弁の椿』にみえる

福島 達也

「血縁」を巡る家族像のあり方

田鎖 悠輝

長野県南部地方方言の地理学的研究

— 推量表現を中心に —

『羅生門』において芥川龍之介が希求した「生」の形

相澤 美雪

曹操の生涯と文学

— 「短歌行（対酒篇）」を中心に —

『水滸伝』の宋江に見るリーダー像

芦田 一平

任氏伝から読み取る当時の女性像

— 沈既済が仮託した女性の理想像について —

中国における違法コピーの現状について

石川 紫

中国文学における狐のイメージ

伊藤可奈恵

日中文字改革比較考

稲富 雄亮

莊子の理想像

— 真人・至人・神人について —

7人制ラグビーの普及

— アジアから世界へ —

チベット問題報道姿勢

— 朝日新聞1950—2008 —

漢字と日本語の相性

— ローマ字表記の可能性をさぐる —

墨子の思想について

赤羽末吉の描いた中国民話絵本

三国志の姜維像について

— 史書・白話作品の比較を通して —

列子の夢世界

西王母像の変遷

莫言の農村文学について

— 同時代の作家との比較 —

中国バスケットボールの発展要因

正史・演義『三国志』における描写の比較

— 呉の人々を中心として —

李商隠の恋愛詩

— 妻への悼七詩を中心として —

二郎神信仰の広がり — 地名からの考察 —

董仲舒の天人相関説について

『廢都』における女性描写

— 川端康成との比較から —

二十一世紀中国の教育

— 応試教育 から 素質教育 へ —

中国の漢字簡略化について

岸 友紀子

木下 弘幸

楠田 奈々

河原 敏彦

小柴 俊明

真田 尚子

重松 享

高井 良子

高橋 智通

竹下幸志郎

土居三千博

中尾理恵子

中才 善恵

中村小百合

永田麻理絵

橋本 利幸

林 丈樹

原岡 菜美

官渡の戦いから見る曹操像

水滸伝における扈三娘像

中国野球について

犬食に見る中国の食文化

中国人にとつてのオリンピック金メダルの意味

— オリンピックメダルが与える影響 —

陸遜とその子孫について

『太平広記』からみられる虎の存在意義

— 人虎伝を中心として —

中国における造酒についての諸説

李清照の文学とその時代背景

『史記』と『漢書』に於ける於ける游侠の評価の違いについて

対日中国産農産物における日中の安全意識の変化

— 中国産ほうれん草残留農薬事件を巡って —

「羊祜識環」の成立とその変遷

中国語に同化した外来語

— 日中比較の視点から —

『金瓶梅』は穢書であるか

玄奘三蔵像 — 史実から虚構へ —

雅楽の中の日中の文化的差違

李煜が詞にもたらしたものとは何か

英米文学専攻

The Crucible 研究 良心と行動の関連性について

矢野 諒子

渡邊 翔伍

内藤 夏

難波 尊

渡辺 英雄

福原 康平

細川 翔子

前田 優介

御澤 知世

本木健太郎

森 朝美

森島 佐奈

安福 知華

千 興

菅田 駿介

福田 亘

兄玉 大

福田 亘

矢野 諒子

渡邊 翔伍

内藤 夏

難波 尊

渡辺 英雄

- A Connecticut Yankee in King Arthur's Court*
研究ハンクの矛盾と皮肉な結末に込められた
意図 東 昂充
ケータイ小説の誕生
—ケータイがもたらす新しい活字文化— 足立 直之
- Paul Auster, *The New York Trilogy* 研究
—The New York Trilogyにおける自己と他者の
関係性— 新井恵梨香
- Steinbeck の作品に見る人間の姿
—*Of Mice and Men* における Lennie が George に
もたらしたもの— 有南 未穂
- Edgar Allan Poe の短編小説における天邪鬼
にこいつ 池田 匡
- Louisa May Alcott の *Little Women* 研究
—家庭教育が四姉妹の生きる道にもたらす影響— 石原 佳奈
- PAUL AUSTER, *TMBUKYU* 論
—テイングブトゥとは— 石原 達也
- 戯曲『セールスマンの死』における意識の表現と
その目的にこいつ 板倉 郁也
- Jane Austen, *Pride and Prejudice* の研究
—エリザベスとターシーの覚醒— 市川真由香
- ポール・オースター『ムーン・パレス』論 植谷 光志
- 意味論と統語論から見る one's way 構文 宇田川恭弘
- Empathy and Disgust in Kurt Vonnegut's
Bagombo Snuff Box 内山絵理華
- The Picture of Dorian Gray* 論 扇 綾乃
—作品に込められた道徳性—
A Midsummer Night's Dream のフュエリニスム
観点からの研究—ノースロップ・フライ, C.L.
バーバーの構造論を踏まえて— 太田さやか
- Oscar Wilde, *The Picture of Dorian Gray* 研究
—ドリアン・グレイの墮落について— 大野 藍子
- The Great Gatsby* 研究
—ふくろう眼鏡の男の役割について— 大野 亜紀
- Invisible Man* において青年がたどり着いた人生
の幸福論とは 大野 響子
- The Bell* における自己認識論
—一人の人間として如何に生きるか— 岡澤 沙樹
- Nathaniel Hawthorne, *The Scarlet Letter* 論
—恋愛小説としての *The Scarlet Letter*— 勝山 知典
- The Locked Room* 研究
—語り手の謎と作品のメタフィクション性— 川勝 康平
- 生成文法の変遷 川本 祥也
- G. Bernard Shaw, *Pygmalion* の結末について
—なぜ Eliza は Higgins を見捨てるか— 北山 正人
- Paul Auster の *Moon Palace* 研究
—主人公 Marco Stanley Fogg の孤独と成長— 草水絵美子
- 慣用句における日英語の比較 久世絵利奈
- W・サマセット・モーム『劇場』研究
—ジュリア・ランバートに見る作者の人生観— 小關 香里
- Paul Auster の *Ghosts* 研究
—自己と他者の関係と存在について— 酒井 愛
- Henry James の "Daisy Miller" 研究 "Innocent"
から読み解く Winterbourne の Daisy に対する
心情の変化について 佐々木さなえ
- Nathaniel Hawthorne の *The Scarlet Letter* 研究
—パールの存在の意味— 七里 真理
- Mark Haddon's *The Curious Incident of the Dog
in the Night-time: Inside the Extraordinary
Mind of an Autistic Boy*
Saul Bellow の *The Victim* 研究 四宮 知子
—犠牲者に込められたメッセージ— 柴山 瑠美
- The Catcher in the Rye* 研究
—ホールデンにとつてのジェーン存在— 清水 将史
- Christopher Marlowe の *Doctor Faustus*
—フォースタスと悪魔と神が招く悲劇— 清水友佳子
- Alice Walker の *The Color Purple* 論
—セリーの成長の契機— 城山 晃葉
- Little Women* 研究
—ルーイーザとジョーの人生から見えてくるもの— 杉野 円香
- Jonathan Swift, *Gulliver's Travels* 研究
—*Gulliver's Travels* における人間嫌悪— 鈴木 康己
- 英語における慣用語と英語話者の文化・思考
Kate Chopin, *The Awakening* 研究 高光 正之
—Edna の自殺の意味— 瀧川 広子

- Kurt Vonnegut Jr. *Cat's Cradle* 研究
— ボロン教に込められたヴォネガットの思い—
達山 泉
- 『ドリマン・グレイの肖像』における虚構と現実
田中 麻友
- Whale Rider
— マオリ族における家族関係と男女差別—
田中 都
- Paul Auster, *TIMBUKTU* の研究
— なゼミスターボーンズはティンブクトゥへ向かったのか—
谷口 直弘
- J. K. Rowling's *Harry Potter and the Philosopher's Stone*: What is ideal society for the author through the Harry Potter world?
忠谷 兵馬
- Pride and Prejudice* の研究
— 主人公と脇役の役割—
角田 悦子
- Oscar Wilde "The Picture of Dorian Gray"
について
出口 渡李
- Huckleberry Fin の人物像と作品の結末について
(周囲が Huckleberry に与えた影響を踏まえて)
鳥本 健介
- Paul Auster の *Timbuktu* 研究
— ティンブクトゥの意味するもの—
中嶋 彩乃
- Edgar Allan Poe, "The Cask of Amontillado" の研究—エンディングに見るポーのこだわり—
中島早由里
- Paul Auster の *The Locked Room* 研究
— 「私」とファンシヨールの関係—
中西 藍
- A Comparative Study of "The Happy Prince" and "The Young King": Oscar Wilde's Intentions in the "Social" Fairy Tales
中村 仁美
- Necessities of English Education in the Japanese Elementary School
— Phonological Specialties of Children—
縄稚 勇一
- Jean Rhys, *Wide Sargasso Sea* 論
— アントワネットはなぜ狂女と化したのか—
西村 康美
- Lewis Carroll, *Alice's Adventures in Wonderland*
研究—ナンセンスしセンスの境界—
服部 寛子
- 現代の言語接触
The Merchant of Venice の研究
— 敗者シャイロックと勝者ポーシャの比較分析—
花岡 慧
- Lewis Carroll, *Alice's adventures in Wonderland*
研究—社会が包括する無数の個人の不思議の国—
林 泰弘
- Jane Austen, *Persuasion* 研究
— アンとウェントワースの心理的距離—
馬場美千子
- Paul Auster, "Ghosts" ブラックとブルーの関係について
Gulliver's Travels の研究
— イギリス社会の風刺を中心に—
馬場 裕人
- The Bluest Eye* 研究
— 隠された本音のメッセージ—
福止 知弘
- F. Scott Fitzgerald, *The Great Gatsby* において Nick が得たもの
藤原 草太
- William Shakespeare, *Romeo and Juliet* 研究
— 台詞の技法と劇設定にみる悲劇的効果—
辺弥奈津美
- 自動詞構文と認知能力
Alice's Adventures in Wonderland 研究
— なゼ世界中の人々から愛され続けるのか—
堀口 勝也
- 前川このみ
— どうして韓国人は日本人より英語ができるのか—
松阪 超宏
- The Sound and the Fury* 研究
— 長男 Quentin の葛藤を中心に—
松村 昌美
- なぜ日本人は英語を話せないのか
Paul Auster の *Moon palace* 研究
異文化接触における言動様式の違い
色彩語における日英語のイメージの比較
Patricia MacLachlan の *Journey and Baby* 研究
— 児童期の心の成長—
松村 優太
真鍋 文
真野 早央
水口 奈菜
村上 絢
- Edgar Allan Poe, "The Fall of the House of Usher" 研究—アッシュャー家の崩壊とその意味—
森 美由紀
- Cats* 研究
— *Cats* に込められた人間賛歌の精神—
森山 聡子
- Joseph Conrad, *Heart of Darkness* の研究
— クルトと「恐怖」について—
諸橋 崇宏
- Theodore Dreiser, *Sister Carrie* 研究
— 「成功」と「幸福」について—
山田 麻依
- Oscar Wilde, *The Picture of Dorian Gray* 研究
— オスカー・ワイルドの自画像—
崔 順愛

人種を偽る(ごまかす)

— PASSING の Irene と Clare において — 井上 美紀

言語習得における普遍文法の働き 大原 智香

言語と認知

— 日本語の状況中心主義は認知どう関連するのか —

鈴木 優子

“Beginners” and “Cathedral” by Raymond Carver:

Is Carver a Minimalist? 今井 信宏

アーサー・ミラー『るつぼ』研究

— ミラーの脚色にみる、アメリカ社会における

「偽善」とは — 岡本 紗季

The Crucible に描かれた「正義について」

加藤 莉英

日英語の音声的特徴の比較

黒川 智史

第6・第7文型の必要性 山本 正弘

Tennessee Williams の *A Streetcar Named Desire*

に ついて 桂木 亜衣

Jean Rhys *Wide Sargasso Sea* 研究

— Antoinette が狂気に至る要因とは何か — 安田千鶴子

ヤン・マーテル「パイの物語」の主題

— 他者との共存を可能とする二つの位置の提示 —

East of Eden by John Steinbeck

外尾 百祥

— Considering the role of Lee — 御崎健太郎

Sherwood Anderson の *Winesburg, Ohio* に ついて

森 英輔

日本語と英語の待遇表現

— 「丁寧さ」意識の比較 — 森田 美菜

シンデレラ研究

— 女主人公の持つ教育的側面 — 原田 育佳

James Matthew Barrie の *Peter Pan* 研究

— Peter と対峙する二つの世界 — 平工久美子

Kazuo Ishiguro, *The Remains of the Day* 研究

— ‘dignity’ の追求と Stevens の人生 — 地原 佳孝

日本史学専攻

阿部正弘と幕末・福山藩の軍制の動向 阿部 直也

源氏物語の女性の出家についての研究 新井 貴昭

貴族院多額納税者議員の行動

— 広島県選出議員 八田徳三郎の事例 — 荒川 周平

宮座争論にみる宮座の実相とその機能

— 近世後期、河内国滝畑村を事例として — 案西 祐哉

中世後期における馬借の存在形態

— 越前国西野家文書を中心に — 池浦 恵里

岡本黄石 石井麻依子

日本製緑茶認識をめぐる相克

— 領事と茶業組合 — 石川 侑加

万朝報の「変化」と黒石涙香

『京都町触集成』からみる子ども観

— 迷子触と尋人触を素材に — 井上 愛子

京都府における民力涵養運動の研究

一九二〇—三〇年代の京都府における風致理念の

展開 岩田 京子

縄文時代中期の土偶における顔面変化

— 山梨県を中心に — 内田 徳子

二二二

明治期における妖怪の衰退とその原因の再考察

日本におけるイエズス会の経済活動 會下 聡

柔道成立まで 遠藤 昌美

12—15世紀における食品の諸相と流通

— 『鎌倉遺文』を中心に — 大久保悠子

水場遺構と低湿地型貯蔵穴の検討

— 堅果類加工処理施設としての機能 — 大越 一希

ガレージキット・フィギュアの変遷

— イベントと雑誌から見る — 大島 克也

幕末期の横浜における異人観について

政治的ファクターとしての千家尊福

— 自己・他己評価を中心に — 大地 悠里

奥州藤原氏の権力構造

— 陸奥国南部における交通にみる権力基盤考察

を中心に — 小川 拓郎

遊行廻国からみる近世社会

— 〈日本仏教の近世〉の一考察 — 小畑 唯

治承・寿永の乱における寺社領からの軍事動員に

みる鎌倉幕府の特色 河南 圭佑

従軍記者・岸田吟香の歴史的意義の再評価

豊臣政権における伏見城の政治的意義について

戦時下における演芸慰問について 小泉 佳也

篠窠跡群における西長尾地区の様相

近江神宮創建経緯からみる近代創建神社の性質

小西 真奈

小林佑一郎

- 『日本ニュース』に見る戦時下の日本 齋藤秀一朗
戦後上京区の知的障害者福祉のあゆみ 佐藤 雄太
近畿地方における突帯文土器編年試案 佐藤 友香
双脚輪状文
— 弥生・古墳時代の「貝の道」と祖形の関連性
— 品川明日香
— についての考察—
- 満洲分村モデル大日向村
— 戦前の満洲への分村背景と戦後軽井沢への再入植—
柴崎 智子
織田信長の馬揃について 白井 直登
雨森芳洲の朝鮮語稽古 新海 由乃
琴桂形石製品論 杉本 翔
児童文学に描かれた満洲のイメージ 鈴木 郁
多摩地域における縄文時代遺跡間関係 墨谷 香織
九州におけるキリスト教伝来と貿易問題 武田 淳
関ヶ原合戦以降における徳川政権と外様大名の関
わり— 参賀儀礼を中心にして— 竹中 裕史
大相撲に対する社会的評価 橋 克修
中世の人身売買について 田中 浩司
16世紀における地域市場の展開
— 近江東部市場をめぐる諸関係と市場景観の検討から—
谷口 拓
近世の虚無僧像 — 諸史料を参考に— 玉木 優
大正期における離婚再生 鶴口 明子
大徳寺復興期における大徳寺派僧と堺商人の交流
— 住吉信仰と関連させて— 濱田 哲平
- 鈴木清一の軌跡
— 道と経済の合一を目指して— 仲川 祐未
「韓国併合」前後における芸娼妓対策
— 居留地の動向を中心に— 中務 庸子
莊園制の再編と地域社会
— 播磨国矢野荘の再編— 中村 達矢
— 古代の王位継承 中村 友美
戦後日本におけるブラジル移住の実態
— 松原梓移民について— 中山 崇
堀切と横堀 永恵 裕和
網野史学イメージに関する一考察 永田 盛己
「内務官僚」南原繁の実像
— 射水郡立農業公民学校の設立を中心に— 西田 彰一
八・九世紀における官吏登用について 根城 彰子
桜田門事件について 橋本 慎吾
新撰組像・近藤像への語りと変遷
— 明治と昭和戦前期にかけて— 濱 志穂子
近江国葛川の支配体系について 平井さほ里
鎌倉幕府の宗教政策 平田 菜穂
福島県いわき市における縄文時代の遺跡動態
— 少女文化にみる少女像 廣岡 志保
— 天文法華の乱と室町幕府の関連性 藤原 奈緒
— 南部麒次郎からみる近代兵器産業史 古門 亮
— 日露戦争期における軍部主導情報統制の展開 堀池 祐貴
— について 本郷真奈美
Jポップの歴史と現在 増田 隼輝
都をどり 松上 佳代
- 妹尾義郎の仏教原理主義 松崎 祐徳
戦前日本における禁酒運動の実態と影響 松田 郁美
伏見宮家と伏見庄 松見佳菜子
唱歌会という場
— 明治期京都における「唱歌」— 丸山 彩
— 前期摂関政治と藤原良房 宮本 春香
— 東京地学協会の政治性とその影響 本村 賢志
— 石器組成からみる縄文から弥生への変化
— 近畿・中国・四国地方を中心に— 森井 千恵
— 幕末京都における見廻組と新撰組
— 「見廻組調達一件」と「新撰組金談一件」に見る— 山田 聖子
室町幕府の終焉— 足利義昭と織田信長— 吉岡 健博
九世紀における天皇の身体と仏教 若山 憲昭
奈良時代の浮浪人移配について 老平 具正
甲斐庄楠音 清島 愛
新潟県の縄文時代貯蔵穴 相澤 宏恵
明治30年代から40年代における高等教育機関への
受験実態の研究 佐々木原透
— 受験雑誌『中学世界』を分析対象とする—
二・二六事件と安藤輝三
— 軍隊と運動の狭間で苦悩する中隊長— 西村 隆秋
彦根藩における藩医集団の形成と藩医のあり方 満田 雅
京都花月の歴史 菅原 和成
戦前における出稼ぎ移民の実態と背景
— 広島県沼隈郡田島村と我が家族の軌跡— 前田 巧

明治維新の真宗と関信三のキリスト教探索

横尾 有三

明代中国における火繩銃の伝来

團 一博

前漢における異姓諸侯王から同姓諸侯王への移行

吉武 浩司

赤尾敏からみる右翼思想

上原 啓義

後藤新平と台湾

中西 真子

明末の戦争について

吉田 将明

富山藩の合寺政策

小泉 俊朗

宋代温州と科挙

中村 文洋

周公伝説の変遷

内田 絵梨

皇位継承転換期としての聖武・孝謙期

新美 和真

合格者数増加についての一考察

西端 亮輔

周公伝説の変遷

橋本 美味

道祖王麿太子を中心に

菅本 大介

林則徐という人物

西村 亮

唐代女性の化粧

馬場 理江

民間の製鉄実験について

船岡 洋美

前漢文帝の収廃止について

西山 頌秀

古代の蜀について

田中 惇義

日本の猫文化 ―その一様相―

高橋裕次郎

天安門事件前後の変容について

野田はるか

後周の禁軍改革および後周と五代他王朝との相違

田中 惇義

近代におけるイネ品種改良の変遷

高橋裕次郎

中華体制崩壊の過程

野田はるか

現代中国の女性リーダー像の一考察

吉田 祥子

東洋史学専攻

宋代の真鑑

石井 友樹

―日清戦争前後を軸に―

平山 真吾

客家について ―主に婚俗を基に―

藤田 惟史

褚遂良について

植田麻衣子

中国社会に影響を与えた星々

福原 尚子

唐代党項の動向

中川 陽介

周恩来の出发点

大島 一修

長孫無忌政権に関する考察

藤原 直人

清末留日学生の生活と日本観

岡島 賢

宋代科挙の不正問題における一考察

奥津 達朗

古琉球における貿易体制と諸外国との制度比較

平安山貴央

雍正帝に関する一考察

塩谷 健史

清代の地方政治 ―知県を中心として―

草薨あゆみ

自伝からみたハン・スーインのアイデンティティ

堀田 朝美

映像と舞台演劇 ―大衆社会の先―

浅井麻理子

唐代における理想の母親像

齋藤 史織

正月十五日の年中行事について

前島 亜有

情報化社会と環境問題

安藤有紀子

―『女論語』と『女孝経』を中心に―

齋藤 史織

―中国・朝鮮・日本の比較と紫姑トを中心に―

松尾 省吾

近代社会の見直しと将来ビジョン

安藤有紀子

正莽禪譲の特性について

齋藤 若菜

諸葛亮亡き後の蜀政権

松尾 省吾

裏千家の国際化戦略・組織構築・維持の問題点と

伊住公一朗

―曹丕禪譲との比較から―

齋藤 若菜

殷代対外関係史 ―「羌」と「周」―

松本 佳祐

解決策

伊住公一朗

清朝末期における小学堂の設立について

清水 正和

春秋・戦国時代における相国・丞相について

村山 健

売春婦を通して見る中世女性の地位

板橋 瞳

中国古代以来の胡服について

善家 早紀

―特に魏晋南北朝における服装胡化に関する一考察―

森 祥美

ドイツ・ルネサンスと死の表現

遠藤 開

劉備入蜀時の益州事情

高橋 冬樹

元末の宗教反乱に関する考察

山下 瞳

―デューラーを軸にして―

遠藤 開

墨家節葬思想の展開と古代中国墓葬制について

高橋 冬樹

纏足について

山下 瞳

中世フィレンツェにおける都市の慈善・救貧活動

岡田紗矢香

―『墨子』『呂氏春秋』比較を中心として―

玉上 雄太

唐代における後宮女性の解放について

山添めばえ

―兄弟団の活動をとおして―

岡田紗矢香

秋瑾の生涯

湯浅 裕史

秋瑾の生涯

湯浅 裕史

- カロリング朝の王権の在り方
— 宮廷・ローマ教皇座とキリスト教社会 — 荻原 良充
- 「ヴェトナム抗未救国戦争」とは何であったか
… ヴェトナム共産主義が果たした世界史的意義
加治佐拓也
- 「開かれた学校」の実現のために… イギリスとの
比較から日本の教育行政を考える 勝見 文子
- ラテンアメリカの貧困と環境破壊… 持続可能な
開発の可能性 河原 智彦
- 近代ドイツの公教育改革について 木船 雄介
- 「テロリズム」とレットテルを貼られた人々
… アメリカ合衆国と中東の民衆 小井手聡太
- ローマ帝国とキリスト教迫害… 2—3世紀の
「支配システム」転換に着目して 小竹 聡史
- ロシア革命からソ連邦成立まで… 革命が残したもの
の評価 佐伯 圭祐
- 19世紀におけるパリ都市空間… 水辺の理想化と
その背景 狭川 尚己
- 見えない音楽
— アイデンティティ差異化の歩み — 佐藤 志保
- 電話通信と近代化 茂村 宏明
- グローバル化とは何か
— フランス近代が見るグローバル観 — 清水 朋治
- 核保有をめぐる二極化する国際情勢と日本の選択
… 日本の安全保障におけるMDの可能性 下村沙也香
- 原始キリスト教と女性 代田 恵
- アーサー伝説から見るイギリスの形成
— イギリス人らしさとは何か — 柘植 みき
- 19世紀ヴィクトリア朝におけるアスレティシズム
の興隆とその要因について 中村 周平
- 海のネットワーキ化における帆船の役割… 地理環
境と風の利用化 原 裕馬
- コンスタンティヌス改宗以後におけるキリスト教
化の一側面… 「異教的風習」の流入に着目して
バナヤン・ジェームズ
- アメリカ合衆国における住宅と人種隔離… 「個」
と「公共」の対立 坂東 大
- 14—19世紀のフランスにおける子どもの異なる価
値観の歴史 藤岡 要
- 子どもは当時の社会状況を表す指針となり得るか —
先進国における「階級」と所得・学歴・意欲…
縮められない貧富の差のからくり 堀越さくら
- 今を生きる女性の身体改造 松井 啓子
- 「フツウ」のボディ・イメージを追求する女性たち —
伝説と現実の狭間に生きる存在 松本 匠子
- 欧米における異形者イメージの変遷 — 宮下 詩織
- 中世の賤民と与えられたしるし
フェミニズムの自然科学との対話… 「生物学的
決定論」の恐怖を乗り越えた人間本性容認論
安武 秀之
- 錬金術から近代科学へ
— 近代に受け入れられなかったファンタジー — 安田 央奈
- 商業観とキリスト教倫理の変革
— 商業肯定の過程と清貧運動 — 山内 伊織
- 楽園から庭園へ 山川 裕美
- 戦争の歴史の変遷と平和の可能性 山崎 華乃
- 民主主義教育への挑戦
— ドイツ政治教育から学ぶ — 山本 岳
- 海賊— 近代国家の影に埋もれた者達 米澤 知也
- 中世ヨーロッパ・フランドル地方における社会福
祉政策について 武田 隼人
- 古代アテナイにおけるデマゴグの発生 浅野 雄大
- オスマン帝国末期における国家統合のあり方の
変容とトルコ共和国の成立について 近石 侑磨
- グラマラスな世界… 一九七〇年代のロック文化
土地所有から見るヴェネツィア貴族階級の変容
— 16世紀ヴェネツィア史の再評価 — 池端 佑介
- 武藤 晴菜
- 地理学専攻
- エリアマーケティングにおけるジオデモグラフィ
クスの応用— 京都市の中古自動車買取を事例にして — 芦田 直弥
- 大阪府における選挙結果の空間的分布と住民特性
との関係 荒木正太郎
- ホテル街「渋谷・円山町」の形成過程 有田 匡宏
- 明治・大正期における清酒酒造業の地域変遷
— 兵庫県灘五郷地域を例にして — 池田 健
- 呉工業の変遷と内発的発展の必要性
— 造船業に注目して — 石田 憲彰
- 「望ましい景観」の定量的解説と考察 市川 幸子
- 景観構成要素選択法を用いた実験的研究 —

駅周辺地区における放置自転車問題に関する一考察

—京都市を事例に— 井上 智史

重要伝統的建造物群地区における土地利用変化

—橿原市今井町を事例として— 今出 真二

京都市都心部における小学校跡地の活用決定プロセス

セス 岩永 祐輔

場所愛とは何か

—織田作之助の〈大阪〉を読む— 植森 由佳

京都市西陣地区における京町家の事業活動と景観保全

遠藤 士郎

土地利用からみた奈良盆地の地域的特色

大原 千佳

少年野球のメンバー構成からみる地域的特性

—向日市周辺を事例として— 奥野 敦

ニュータウンにおける商業地の立地と住民の属性

—神戸市北区を事例として— 面高 洋

派遣労働者の通勤行動

—東京・蒲田を事例として— 柏原 健太

人口の変動から見た駅周辺地区の土地利用変化

—滋賀県栗東市を事例に— 川崎 日野

地域住民の城郭に対する認識とランドマーク

—愛媛県宇和島市を事例に— 木熊 精志

少年犯罪の地理的動向と社会的要因の関連性に

関する研究 木下 由貴

移住誘致政策を掲げる自治体への移住者の定着過程

—長野県原村を事例に— 木村 聡

京都市・北野天満宮周辺におけるクールアイランド現象の研究

黒田 拓也

兵庫県播磨地域におけるコンビニエンスストアの立地展開

小山 裕史

仮想市場評価法を用いた路面電車延伸に関する住民意識の分析

—愛知県豊橋市を事例として— 酒井 惇平

新空港開港に伴う路線と旅客者数の変遷について

—近畿3空港を対象として— 佐藤 拓自

京都市におけるパチンコ店の立地展開

混住化地域における子どもの生活空間とその変遷

—滋賀県守山市守山小学校区を事例として— 佐藤 麻己

枚方市におけるコンビニエンスストアの立地展開

佐野 紗織

棚田保全活動をめぐる主体ごとの意識の相違

—滋賀県大津市平尾地区を事例に— 新谷 正樹

都市部における有料指定袋導入による地域住民の意識・行動による変化

—京都市を事例に— 鈴木 敦子

地域性からみたコミュニティと自主防災組織

—旧右京区を事例として— 鈴木 恵里

農園の観光化による地域振興

—和歌山県伊都郡かつらぎ町御所を事例として— 高田 翔

行楽地型レンタサイクルにおける利用者の意識と移動範囲

—京都市を訪れる観光客を事例に— 高橋 祐子

福光のバット製造業の変遷

—金属バットの普及前後と現在— 竹岡 沙希

岳 竜也

二一六

NPO法人の地域参入における地域住民の社会的ネットワークの変化

—福井県足羽郡旧美山町上味見地区を事例に— 津田 恭明

京都市におけるファミリーレストランの立地展開について

—京都市におけるファミリーレストランの立地展開— 富樫 穰

京野菜産地の展開と生産形態

—京都府久御山町の聖護院だいこん栽培を事例に— 友田 淳也

歴史的町並みにおける景観保全と活性化

—富田林寺内町を事例に— 土井 久蓉

京都市における大型商業施設に関する一考察

—日本橋電気街を事例として— 中島健太郎

家電量販店の閉鎖に伴う都市景観の変容

—彦根市を事例に— 中谷 恒久

観光型まちづくりと中心市街地の変容

—大都市周辺部における不法投棄の現状と展望— 中村 公美

都市化に伴う農地利用・農業形態の変遷

—京都府亀岡市を例に— 長尾 諭

京都市における中心市街地活性化の可能性

—滋賀県草津市を例に— 苗村 紀明

祭の担い手とその変容

—住吉大伴神社 神幸祭を事例にして— 仁木 達也

映像メディアが地域に与える影響

—近江八幡市を事例として— 野口 貴弘

地方都市における中心市街地活性化の可能性

—徳島県徳島市を事例に— 早川 友里

東村正太郎

都市型レンタサイクルシステムの利用実態と発展の可能性

— 阪急レンタサイクルを事例として — 平塚 誠

京都市における伝統産業地区と先端技術産業地区の比較研究

— 西陣と市街地南部を事例として — 藤井 太賀

明治期における鳥取県の移出入

藤信 有藏

京都市におけるガソリンスタンドの立地展開

前田 翔平

認知地図の歪みに関する地理学的研究

— 街路形式の差異に着目した分析 — 益子ちひろ

奈良県三宅町における皮革産業とその職人の関係性

— グローブ生産を事例として — 松山 佳樹

大阪府におけるみかん産地の変容

南 晴之

大阪府枚方市香里団地における建て替え後の住民属性の変化

— 公営と民営の違いに着目して — 宮崎 真和

空港の立地と周辺産業の発展

— 中部国際空港を事例として — 本 翔太郎

大阪府におけるスーパ―銭湯の立地展開

本岡 真幸

兵庫県印南野台地におけるため池の廃止転用について

— 同心円による分析から — 本岡 良太

学習指導要領の変遷からみる地理教育

森 研輔

都市再開発による人口再編と購買行動の変化

— 三重県四日市市中心部を事例として — 森寺 和之

スーパ―堤防の開発による地域生活への影響と変容

— 淀川左岸・出口地区周辺を事例として — 山中 香

多摩ニュータウンにおけるアクセシビリティと住民属性の比較分析

行森 純一

コミュニティバスの供給特性とその変遷

— 箕面市のMバスを事例として — 吉田 道裕

保護者の視点から見た子ども遊び環境

— 東大阪市を対象として — 米田 圭吾

パーソントリップから見た行動パターンの経年的変化

— 京都府南部を事例として — 渡辺 健太

人為的行為の介入による生態系の変容

— 奈良公園のシカを事例として — 渡部 美咲

中国におけるコンビニの発展と課題

— 上海市の日系コンビニを例として — 杜 奇峰

能登半島地震の被害状況と災害がもたらす地域活性化

— 石川県鳳珠郡穴水町を事例として — 佐久間 歩

場所に対するツーリストのイメージ

— 京都市を訪れた修学旅行生を事例として — 内田紗矢香

バブル経済期における画廊の立地動向

— 東京都中央区銀座地区を事例として — 佐谷 岳穂

都市化に伴う農業的土地利用の変容

— 奈良市法蓮町を事例として — 宮崎由香里

スポーツ事業の地理学的考察

— 茨城県鹿島地域におけるサッカー事業の取り組みから — 泉山 佳世

交野市における果樹栽培地域の変容

— 神宮寺地区のブドウ栽培を中心に — 岡澤 里香

富山市における公共交通の再編について

— コンパクトシティにおける一考察 — 川崎 正博

バスケットボール強豪地域における地域活性化策とその文化的背景

— 秋田県能代市を事例として — 佐野 雄司

野田駅周辺における商業店舗の変容

— 高齢化する人口と若者化する街 — 清水 俊孝

京都府亀岡市における洪水の変化

社会的ネットワークからみた新興住宅地住民の社会関係

— 福岡県前原市南風台4丁目を事例として — 田中沙一郎

鳥取県琴浦町における酪農業の現況

四国—京阪神間における交通網の変容とその要因

— 航空旅客数の変化に着目して — 田中 祐貴

奈良市の新たなまちづくりの取り組み

— 奈良市奈良町地区を事例として — 中村 仁洋

京都市におけるガソリンスタンドの立地展開

過疎農村における低次中心地の商業構造の変容

— 岡山県真庭市を例として — 古川 智久

大阪南部りんくうタウンの企業立地の変化

— 岡山県真庭市を例として — 湯浅 邦生

京都の大学生からみた京都繁華街像

京都市における中心商店街の構造変化

— 新京極・寺町京極商店街を事例として — 永井 優希

郊外都市におけるデイサービスセンターの立地とその展望

— 大阪府枚方市を事例として — 野口 翔平

近代における門司港の後背地

— 大阪府枚方市を事例として — 池田周一郎

近現代における門司港の後背地

— 島尾 洋輝

近現代における門司港の後背地

— 十亀 大輔

古記録からみた歴史時代の天候

—15世紀後半を事例に—

井川 直博

写真と演出

—その作為性と真実をめぐって—

奥村 涼子

明治・大正期における西陣織意匠の変遷

—デザインの先駆性—

染川裕美子

人文総合化学インスティテュート

〔学際プログラム〕

—その絵画の象徴性とそこから導かれる主題について—

小澤佐代子

—言語表現の変容と発展—

高島 春佳

アール・ブリュット再考

—代替世界の創造をめぐって—

阿野 衣恵

—その絵画の象徴性とそこから導かれる主題について—

加藤江梨子

—虹の流れの中で—

多木 麻維

ジオルジュ・ド・ラ・トゥール「悔悛するマグダ

ラのマリア」

飯尾伊津子

—児童向け伝記における効用について

北川 広基

—ジェノサイド勃発までの経緯をたどる—

竹中智恵子

日本の近代建築における伝統と創造

—丹下健三を中心に—

伊郷光太郎

—アンリ・マティスの拡張する絵画

古賀 公子

—あやふやに定義された造語—

立石 晋一

イラン・ナシヨナリズム

—国家における言語の役割について—

浅野 沙織

—ヒロインとジェンダー—

小柳めぐみ

—「アモルトとプシケ」の画像表現について

寺戸万里子

魔女狩り—ジャンヌ・ダルクと異端審問—

「牛頭」と信仰

伊勢村祐紀

—光と陰の効果とは—

近藤紗矢香

—「アモルトとプシケ」の画像表現について

中嶋亜香音

—神と鬼に見られる姿形の一致—

グスタフ・クリムトと日本

魚中佐恵子

—アメリカと英語の歴史と発展

後藤 遙介

—新しい日本語教材の形を考える

中嶋 一徳

若者言葉の将来

—略語、KY語から見ると—

梅永 文佳

—異文化共存をめぐって—

坂口 博美

—「敬語・話し言葉使用の実態から—

西嶋 一泰

CIRQUE DU SOLEIL

—描写表現と寓意について—

遠藤 萌子

—人魚から見た日本人の他者認識

坂野 千明

—「民族舞踊／民俗芸能」の現代史

大川平荒馬踊り

舞楽「安摩」「二ノ舞」に関する考察

明治28年「伝統都市」京都の創成

扇田南都子

—不安定な身体

澤田 知佳

—自死と世間—

日本精神論

—京都旅行案内本による地方への発信と他者として

の長野県からのまなざしより探る—

大房安希子

—上方巽と東北

新宮 隆

—バレエ史におけるロマンティック・バレエの影響

平沼 真弓

絶対音楽と標題音楽について

—音楽美学的観点からの考察—

奥野 伊紗

—暗黒舞踏にみる日本人の身体表象—

鈴木万紀子

—長崎におけるカトリックの受容と変容

廣瀬 薫

- 日本語指導が必要な外国人児童生徒を対象とした
公教育の取り組みへの考察
—京都市の例を挙げて—
福永あやの
- ジャポニスムにみる日本と西欧の自然観
藤谷 奈生
- ワールドミュージックとポピュラー音楽
藤松 郁子
- もの派の位相—その皮膜にふれながら—
古川 友紀
- ハンス・バルドウング・グリーン
—北方ルネサンスにおける死と女—
寶藏寺博美
- パルメット紋・パルメット唐草紋の東漸と形状の
変化
宮部佑有子
- イスラム庭園—楽園のイメージ—
森川 夏美
- ことわざの今とこれから
梁井 留美
- ガウディ建築の物語性について
矢野 祥子
- 学習塾の歴史と教育
山田 昌紘
- 言語から見る文化的特徴
山本 直毅
- 朝鮮虎の民画の源流
山本 美紀
- 同性愛
—文化・歴史・言語・教育の視点から—
矢盛 琢磨
- モディリアーニの人物画におけるインスピレー
ションソースについて
吉岡さや香
- カタカナとひらがな
由本 優香
- ヌード写真再考
—美的範疇としての猥褻の可能性—
下門 史幸
- つくられた夢と魔法
—東京デイズニerlandをめぐる考察—
平根なつこ
- 「言語技術」と日本のサッカー
太田 圭亮
- ジョン・エヴァレット・ミレイと《オフィーリ
ア》の表現
田中 実幸
- 日本人の動物観
—「猫」から探る歴史と変遷—
桑山 侑佳
- 二人称代名詞—変わりゆく意味と捉え方—
奥田 紗衣
- 現代の童話にみられる神話や説話の影響
下田 裕子
- ヴェネツィアとガラス細工
芳賀 千尋
- 日本人の名前—古代から現代まで—
松山 千紘
- 王家衛『恋する惑星』『天使の涙』における差異
と反復—モチーフと視線の演出の観点から—
村上 暁
- アントワープ・ファッション
—新たなモードの都市から—
金子 容子
- 映像と音楽の関係性
—久石譲の作る宮崎アニメ—
足高 彩子
- 音楽著作権研究
—利用者から見た音楽著作権—
阿部 啓佑
- 松村栄子『僕はかくや姫』『至高聖所』から見る
作家性
安部 翔平
- ヴィト・アコンチと映像芸術
—彼はいかにして映像を愛するようになったか—
久世 恵太
- 生きられる北欧デザイン
—日本が求めていたモノ—
笹木 祐美
- ウィリアム・モリスのパターンデザインの可能性
—締め上げられる女性たち—
中井 克将
- マルク・シャガールの幻想世界
—その源泉と精神を探る—
林 久美子
- ルネ・マグリット「光の帝国」シリーズについて
山田 裕子
- 化粧皿の図像に見るガンダーラ地方における仏教
美術浸透の過渡期
吉田 真愛
- 放送禁止歌について
石田 麻美
- 首相の靖国神社公式参拝
—公式参拝の是非を考える—
杉山 雄泰
- 宮崎アニメの思想
映画と歴史
世木 佑樹
- 「アンダーグラウンド」と「ユリシーズの瞳」に
みるユーゴスラヴィア紛争—
大久保 愛
- マリファナとタバコを比較して
—オランダの事例から—
大倉 千佳
- 多言語社会イギリス・少数言語の復興
—ウェールズの事例—
小野寺由佳
- James Tissot—芸術の放蕩息子—
価値観
安藤 静香
- 新カント派からトゥガリノフまで—
伊東 久倫
- 新古典主義の展開の多様性
—ウエッジウッドを例に—
玉井 淳史
- 現代映画をめぐる問いと実践
—ドクマ95から鈴木清順まで—
渡邊 織恵
- 社会主義の中の音楽
—シヨスタコーヴィチの交響曲第5番を通して—
舟山 裕太
- 天皇をめぐるイデオロギーの創出と変遷
—イデオロギー対立と国民の天皇観—
亀田 智史
- 家族と社会
小栗康平 作品論
河野 好平
- 兵頭 悠子

中世に存在した城郭、城址から見えるもの

上嶋 敏弘

「アサヒる」とは何か

—朝日新聞の偏向報道の検証— 倉持 亮

モーリス・センダック『まじのそこのそのまたまじ』

—目を閉じる子供の考察から— 吉田 慶子

人文総合化学インスティテュート

〔国際プログラム〕

画家としてのミュシャ

—《スラヴ叙事詩》を中心に— 川内 陽子

音楽の一回性 神田 正中

『Corporate Design Programs』に見るオーレ・

エクセルのデザイン理論とその実践 土田 優衣

ファッションを読む

—衣服の表すメッセージ— 林 智子

喫茶に見る文化変様—器の形より考える— 森本 麻友

近代日本の軟式野球の歴史と発展 横田 義生

満鉄調査部事件検挙者にみる橋樑思想の受容と実践

—佐藤大四郎と大上末広を例として— 我妻 徹

石岡瑛子のグラフィックデザイン 松永 尚子

—三宅一生とのコラボレーションを中心に—

心理学専攻

大学生の感じるむなしさの高低と孤独類型の関連

について 青木菜実子

視覚化されたアクティブがもたらすダイエット効果

青木 美幸

大学生の共感性と罪悪感と役割取得能力の関連

—自己想像と他者想像の視点から— 赤松茉莉花

青年期における運動部活動経験の有無・差異が

パーソナリティ形成に及ぼす影響 阿戸 亮介

学生の運動部活動のバーンアウトにおけるソ-

シャルサポートと「気遣い」の友人関係様式の

影響について 荒井聖司朗

大学生における賞賛獲得欲求・拒否回避欲求と公

開性のある課題遂行についての研究 安藤 裕之

青年期の心理的距離と携帯電話の関連性 飯田 彩加

物語筆記が目標行動達成に及ぼす効果の研究

石山 裕菜

大学生の異文化体験者における自己受容・他者受

容の関連 井田 珠美

インターネットによる、集団随伴性を応用した体

重管理 井手 暁

復帰抑制の拡散における刺激の色変化による影響

稲葉 洋介

電車内でのマナーに対する意識の世代間格差

井沼 庸寛

Representational momentum におけるラテラリ

ティについて 井上 昌典

単純接触効果における刺激呈示時間と呈示間隔の

及ぼす影響 今井 琢士

大学生が抱く子育てへの価値観に対して親の養育

態度が及ぼす影響について 岩井 佳那

テレビ視聴が小学生の性役割観に与える影響

岩堀 聡美

個化する現代を生きる中年期夫婦の関係性

植田絵里奈

母親の養育態度が青年期の自己肯定感に与える影響

内田 温美

感情と援助行動に及ぼす香りの効果 内田 真実

文章生成における推敲段階での階層的概念地図の

効果 漆間 順子

対人ストレスと規範逸脱者に対する罰 大石祐一郎

幼児の「現実」認識の形成

—サンタクロースと将来の夢— 大木 萌

大学生のアパシー傾向と自己効力感およびソ-

シャル・サポートの関連 大野 妙子

行動変動性に及ぼす言語ルールの効果…教示によ

る反応クラスの形成

The effects of rules on the behavioral

variability: Constitution of response-class by

instructions 大屋 藍子

集団での音楽演奏による気分の変化とパーソナリ

ティとの関連性 岡田 彩香

女子大生の公的自意識と化粧行動による気分の関連

奥田久美子

トランスパーソナル心理学史 長田 志織

情動要因と物語展開が物語のおもしろさの種類と

程度に及ぼす影響 柿市 結香

親からの期待が大学生の自尊感情へ与える影響

春日 秀朗

- 在宅高齢者の自己開示と孤独感の関係 片下 恵理
就職活動不安に関する自己開示の効果 加地久瑠美
ほほえみ知覚における、頬の形・化粧・明暗・性の効果 加藤 実穂
大学生の力の合成・分解の理解におけるテキストの効果 加納友希子
— 具体的場面の提示と図の方向の影響の検討 —
提示媒体の違いによる子ども目撃証言の評価について — 検察・弁護という立場及び証言者の年齢が与える影響 — 釜崎 彩
自閉症児における歩行者信号に対応した横断歩道の横断の指導 河崎 慈朗
— 室内シミュレーショントレーニングの検討 —
幼少期の愛着関係と青年期の対人依存欲求および信頼感の関連について 川島由香莉
自己複雑性と抑うつとの関係についての研究 河村 麻果
PECSを用いた児童間のコミュニケーションの促進 川村 徹也
青年期における自己の否定的側面の受容について 川本 静香
在り方の重要さ — 10年間ミュージシャンで在り続けた人へのインタビューから — 蓮井 洋美
Yahoo!オークションにおける出品行動の頻度に対する報酬設定の効果 木崎原哲郎
Impulsive aggressive behavior of adolescents
— Correlations with narcissism, self-esteem and social skills — Kayo Kimura
刺激クラスにおける機能転移の検討 木村 貴一
— 名前への単純接触が味覚に与える影響について —
高校生における疎外感と達成動機および学業以外のへのコミットメントの関連について 楠 無我
相対音感が音高記憶に与える影響 久野友紀奈
3歳児と母親の入浴場面における相互交渉 — 食事場面・遊び場面と比較して — 窪澤 春伊
表示メディアの違いが図表理解に与える影響 古賀 靖章
自己開示場面におけるオーブナー特性と他者意識・ユーモアとの関連性 小島 優
厳しい注意や指導を受けた際のストレスコーピングとストレス反応の関係 小松 良太
概念地図を用いての因果関係と大学生の文章作成能力効果 金馬 悠子
親の育児が自己統制に与える影響について 後藤 大輔
ピアノ演奏のつまずきに対するセルフマネジメントトスキルを用いたアプローチの効果 齋藤恵利佳
初対面時の対人認知に及ぼす状況要因の影響 — うわさがもたらす効果との関連 — 榎 江梨子
購買意欲をもたらす効果的広告について 坂本 桃子
広告型による受け手への効果の検討 佐藤 愛弓
歴史教材のマンガ表現が読みと理解に及ぼす効果 庄 里枝子
透明性の錯覚が親密な関係に与える影響 鹿江 秀美
箱庭制作時の表現特徴・行動特徴と性格特性との関連性 澁谷 里奈
3、4、5歳児の積み木遊び場面における相互交渉 — 年齢差・性差に注目して — 末次奈津美
製品関与度とユーモア知覚が広告効果に及ぼす影響 杉尾 美紀
就労場面における知的障害者の作業記録の自立に向けた支援 — 支援ツールとしての時間計算定規と記録表の効果の検討 — 杉島恵里子
行動における色彩の関与について 杉野 綾香
幼児における嘘に関する調査 — 理由付け、心の理論の観点から — 杉本 剛士
対象・被対象間での「天然（ボケ）」に対する概念のズレとその規定要因について 鈴木 彩子
恐怖管理理論と自尊心 — 死の運命強調後の高自尊心の働き — 鈴木 智香
文化的自己観と他者意識の個人差から見た自己呈示色の組み合わせと視認性の関係 武江 光祐
理想自己と現実自己の差異と友人関係が大学生の自己受容に及ぼす影響 竹中美佐都
知覚の歪みが弓道の正確さに及ぼす影響 田島 千早
大学生のソーシャルサポートとネガティブな反すう、およびストレス反応との関連について 谷口 晴美
髪の長さや色の違いによる身長の見え方についての検討 寺岡 香
不登校を経験した青年の自己肯定感の変化 — 半構造化面接による検討 — 内藤 彩

- フィードバックによる高校生の読書行動の改善
中島 美奈
- Jリーグ・サポーターの観戦動機のエスノグラ
ファイアー—アウェー戦での応援行動から—
中西 賢太
- 幼児における心の理論の獲得と比喩・皮肉の理解
との関連
中村 理紗
- 「踊るハート」錯視(1844)と「踊るハート
達」錯視(2006)の比較検証
中山 明子
- 単語表記を用いた忘却教示がRemember/Know手
続に及ぼす影響
長坂 政耶
- 刺激提示における分節が時間評価に及ぼす影響
長島 一騎
- 空間的配置の記述を学習する課題で用いられた文
の提示順序を再構成する過程
並木 秀男
- 反復学習を中心とした介入による自閉症児の行
動・コミュニケーションの変化について
野田 恭世
- セルフ・ハンディキャップが観察者の評価に及ぼ
す影響
野呂 英旦
- 色の奥行き知覚と文字列の意味保有性について
橋爪 達哉
- 発達障害児に対する集団学習の学習面・日常行動
面への影響
長谷部さやか
- 日常生活における錯視の探索的研究
花山 菜月
- 和音進行の複雑さが快感に及ぼす影響
林原 理恵
- 視覚情報が姿勢制御に与える影響
半田 貴子
- 簡条書きレイアウトの様式が説明文の理解と記憶
に及ぼす効果
日置 麻佑
- 楽曲のイメージがBGM文脈依存効果に及ぼす影響
東 拓哉
- 施設複合型銭湯のエスノグラフィ—
2歳児と養育者の食事場面における相互交渉
樋上 沙姫
- 項目の連続性が尺度化情報量の選好に及ぼす影響
平井 美輝
- 親密度と性差が共感性に及ぼす影響について
平野 雄大
- 説明文における図の提示方法と記憶の保持
廣瀬 和明
- 統合失調症型パーソナリティと推論傾向
攻撃性と自己意識、他者意識の関係について
廣部 有美
- 電子媒体を使った手順説明文の学習に及ぼすイラ
ストの効果
船津 明里
- 心理的距離による自己防衛の低減をもたらす諸条
件の検討
古田 志
- 幼児の向社会的行動に及ぼす共感性と権威者存在
の効果
細井 麻鼓
- セクシユアル・マイノリティにとつてのカミング
アウト—ある女性両性愛者のカミングアウトに關す
る問題とその対処—
細川 智史
- アイデンティティ概念の枠組みから、アダルト・
チルドレン概念再考の試み
堀合 俊博
- 親和動機及び自己表明と対人的疎外感との関係
堀井 寛子
- 後発的な意味づけの研究
—サッカー愛好会へのインタビューを用いて—
堀川 弘樹
- 親性準備性の発達に關して —青年を対象に、両親
からの被養育態度と自尊心の観点から—
堀士 裕加
- カラージュ制作における単独法と同時制作法の比
較検討 —内的体験の変化に着目して—
前田 沙織
- 完全主義傾向におけるリスク受容と原因帰属方式
との関連
牧 洋二郎
- 「だまし絵」の違和感に気づく空間的・時間的要因
松下 優希
- ワープロによる文章作成時の文字変換頻度と誤変
換および単語記憶との関係
丸石宗一郎
- 継続的な反復学習が発達障害児の社会的相互作用
及び日常行動に与える影響
水町 洋介
- 父親・母親役割観の時代的変遷
—テレビアニメの内容分析を手がかりに—
三ツ谷知哲
- 大学生における一般的自己効力感とソーシャルサ
ポートの抑うつ軽減効果
村田 尚行
- 物語文章におけるオノマトペがその再認記憶に及
ぼす効果
村松 繁
- 反復学習が発達障害児の日常行動に及ぼす影響
茂木美友紀
- 継続的自己評価理論と自己肯定理論の検討
—自尊心の低い人に注目して—
望月 千裕
- 急速反復書字におけるスリップ発生条件の研究
百井 理恵

トリックアート美術館のだまし絵の分類と面白さの評定 森本 緑

選択課題において期待獲得情報量は重要性を持つのか? — 数字当てゲームを用いた選択行動要因の検証 — 安田 崇

高校運動部活動経験が Self-Efficacy および Coping に及ぼす影響 — 競技特性と指導スタイルの観点から — 山口 駿範

「ウォーリーを探せ」課題における視覚探索方略 早川 大輔

自己決定感および友人からの受容が本来性にもたらす影響 — 生活状況との関連から — 山口 義弘

総合支援学校に通う生徒を対象にした自己確認記録表を用いたセルフ・マネージメント・スキルの獲得 — 自己の即時的なフィードバックが自立的作業遂行に及ぼす効果の検討 — 山下 藍

指定障害者支援施設における就労者のストレス調査 — 職業性ストレス簡易調査票を通して見る介護・福祉現場の特異性 — 山下 達也

「共謀」が認定された事件の供述調書に対する供述心理学的研究 — 福岡事件における7名の供述者の供述調書を用いて — 山田 早紀

ウォーキングによる運動及び画像による姿勢確認を用いた姿勢矯正プログラム 山本 愛

リーダーシップ行動におけるフォロワーの満足度と自尊感情の影響 山本 恭子

3 囚人問題の難しさの要因… 同型問題を用いた検討 山本 貴仁

イヌとの関わり場面における人の活動性の検討 — イヌ型ロボットとの比較を通して — 横井沙弥佳

高齢者における機器利用に対する動機づけ — 利益・コストの認知から — 吉田奈津紀

総合支援学校に通う生徒における自己タイムチェックが作業速度におよぼす効果 若井 俊樹

スポーツ場面における社会的手抜きとチーム人数との関係 若佐 香里

思春期の身体発育のタイミングと抑うつ傾向の関連 喬 彬

中国人日本語学習者における日本語漢字熟語の処理過程 周 林薇

意味判断課題を用いた形態・音韻処理の検討 — Cross-Cultural Comparison of Assertive Behavior Between Japanese, American and Chinese — 陳 南西

総合支援学校に通う生徒におけるコミュニケーション促進ツールとしてのデジタルカメラの利用 — 経験や興味を伝えるための写真 — 林 炫廷

ストレスの高低とパーソナリティの関連 — T E G を用いた部活に所属するしない大学生の比較 — 譚 詠芝

マインドフルネスが精神健康に及ぼす効果とその性差についての研究 呉 丹

色記憶に及ぼす色の好みの効果 下田平祐代

セルフ・モニタリングと対人不安の関連について — 家族システムの影響を考慮に入れて — 森 陽平

組織行動マネジメントを用いたブログによる双方向型授業への取り組みについて 山川 賢司

中高年の危機と宗教とのかかわりについて 神谷 知世

学習療法が認知症高齢者の残存脳機能に与える影響 清水 まき

単純図形の動きによる感情の喚起 富川 道彦

意思決定における現状維持バイアスの検討 堀江 慈子

自己意識・自己内省が不安感情に及ぼす影響について 前田 道子

因果条件文の推論… 代替原因の数と強度が推論の論理性に与える影響 松原 智子

大学生および高齢者の原因帰属様式と主観的幸福感の関係 水戸 薫

健常高齢者における展望的記憶と抑制機能の関連 森川 忍

高齢者におけるダッチングについて考える 柴垣 秀一

大学生の学校適応と自己肯定感の関連 — 個人と環境の関係性からとらえて — 赤川いづみ

好みの色の衣服がポジティブな気分に及ぼす効果 大島 千佳

状態的誇大性・過敏性自己愛尺度製作の試み 竹田 剛

大学生がモラトリアム状態にあることとストレスを感じていることに関連はあるのか

—自己嫌悪感に注目して— 藤村江利子

看護学生のコミュニケーション技術の獲得に向けた援助 —行動分析的なプロセスレコードの検討—

山本 直子

カフェの利用時間別 利用状況の観察 光明 愛

割合既習者における効果的な学習法の検討 林 紀美香

侵入盗の発生に関与する地域・住居要因の環境犯 岡田 陽

罪学的研究 岡田 陽

テーマリサーチ型ゼミナール

LAクラス（他者問題と文化理論）

動物の権利問題

—現代の家畜システムをとおして— 奥山 直紀

日本人にとっての第九とは

—その背景を踏まえながら— 濱村 佳史

写真と死 —死とどう向き合うか— 伊藤 潤

古代人の身体観 —殯儀礼をとおして— 河合 欣子

複合的アイデンティティの可能性

—欧州海洋問題を軸に— 松下美奈子

小学校におけるキャリア教育 塩出佳菜子

生涯教育論 濱地 智司

—ゆとり教育は果たして失敗したと言えるのか—

新世紀エヴァンゲリオン、世紀末社会、学校機能を通して見る一九九〇年代後半の若者像 津田翔太郎

岡田利規『三月の5日間』からみる異化する視点 犬飼 勝哉

K・ヴェネガットと『スローターハウス5』 有田 悠

現代アメリカの貧困問題 松本亜梨紗

テーマリサーチ型ゼミナール

LBクラス（異類の思想と文芸）

帽子屋と三月ウサギのパラドクスにおける『アリス』の解釈 角田あさな

一つ目小僧考 絹傘 力

身体論 竹尾 茜

神話と剣 徳 あやの

ロボットと人間の違い 柿本 敏史

—ロボットは人間になれるか— 河童のルーツ 川口 翔

—河童は我々が創り出したもの— 物語に登場する妖怪の存在意義 久米 諒

風の谷のナウシカにおける異類と人間の親子関係 澤邊美早紀

—について— 遺伝子操作は人類を幸せにするか? 瀬波 舞歩

—デザイナーベビーの存在する未来— タタリ神とシシ神 西川 祐香

ムーミンシリーズにみる樂園喪失 森川彩衣子

—ユートピアの家族の創出と樂園からの離脱—

近未来世界を通して見る自己認識という行為、その可否 安田 真吾

テーマリサーチ型ゼミナール

LEクラス（奄美・沖縄の文化に学ぶ）

沖縄の食文化

—外国の影響と伝統食材を中心に— 近藤 真充

沖縄の死生観 —グソーと生きる— 今宿 結

沖縄の海と人々 酒向 友菜

喜如嘉の芭蕉布 武田 朋子

—芭蕉布を取り巻く人々と環境—

イメージ考察による沖縄の魅力 小堺 真人

—旅人の視点から読みとる—

「うつぐみ」の島の文化と女性 吉田 衣里

—伝えゆくもの、消えゆくもの—

石油備蓄基地と人々の暮らし 片山 恵理

—平安座島でのフィールドワーク報告—

沖縄音楽を理解する 島田 佳子

—歴史、特徴、構造より—

沖縄に学ぶ観光のありかた 中井 恵

エイサーの歴史と変遷 山崎真菜美

沖縄の祖先祭祀 中出 明子

テーマリサーチ型ゼミナール

LFクラス (京都文化学)

利用される京都

— よーじやの販売戦略から考える — 草場 早希

テーマパーク「京都」

— 演出される都市 — 鷺山 美恵

京都における観光とまちについて

— 世界遺産は本当に必要か? — 藤川 陽平

京都の喫茶店—残るものと失われるもの—

京都の「文化力」を考える 大橋なぎさ

— 文化芸術都市を目指して — 池田 悦子

福祉観光都市・京都の実現に向けて

作られた町京都 様々な顔を持つ町 松尾 綾華

京都の尺八—新たな発信の場を探して—

山本 薫 大島 朋昭

テーマリサーチ型ゼミナール

LGクラス (書籍とその周辺)

写真週刊誌の研究—その誕生と衰退— 内本 亮輔

雑誌広告の研究 上村 勇輝

ファッション誌の構成と考察 清水 裕輝

絵本が持つ可能性の研究 藤原あい子

— 大人の読み物としての絵本 —

書籍の装丁について 高橋 理美

— 図書館の蔵書本を中心に —

電子書籍の現状と可能性 福本 洋平

現代社会でのセクシュアリティ

— ノルウェイの森を中心に — 松江 華奈

フィクションの構造への考察 合津 貴雄

現代日本のベストセラーについて 松本 智子

ベストセラーの研究 新堀 裕介

テーマリサーチ型ゼミナール

LHクラス (日本語文法理論研究)

動詞活用の変遷 宮田 涼子

「〜させていただく」考 東 功司

— ポライトネス理論からの考察 — 阿部 祥子

日本語の指示詞—コ・ソ・アの使い分け— 阿部 祥子

時間を表現する「〜てくる」・「〜ていく」の意 谷口 真彦

味・用法 亀山 貴世

ローマ字略語の用法について 天野 有希

女性用文末形式の使用が写える印象と効果 高田真理子

「AはBがC」と「AのBがC」をめぐって 高田真理子

— 「は」と「が」に着目して —

形態・音韻的観点からみる日本語オノマトペ 行岡 靖奈

テーマリサーチ型ゼミナール

LIクラス (ヨーロッパの歴史を通じ

て現れる「他者」あるいは異文化との

多様な関わり)

フリーガンと若者文化 伊庭 徹矢

ファッションとアイデンティティの関わり 今莊 和宏

— 人はなぜ服を着るのか —

スポーツ目的と効果、ドーピング問題から考える 加藤飛雄馬

真のスポーツとは

現代のモータリゼーションのあるべき姿

— ナチス・モータリゼーションを通して — 山下 敬介

中世末期スペインにおけるキリスト教徒とユダヤ

人の共存関係 神田浩太郎

共和制フランス社会とイスラームの共存について

— イスラーム女性のスカーフ着用をめぐる論争から

考える — 辻 美恵子

ユーロと日本経済のこれから 山本 翔

アメリカ合衆国におけるヒスパニックの台頭と非

合法移民問題 秋山 浩之

中世スペインにおける宗教の共存 武田 美央

— 十二世紀ルネサンスへの功績 —

現代日本における高齢者福祉のあり方 森 千尋

— スウェーデンと日本の介護制度比較を通して —

テーマリサーチ型ゼミナール

LKクラス (Themes in Asian

Studies)

Eco-Consciousness in Japan 小田原大介

The atomic bomb is a global issue 藤原 亮佑

The coexistence of child labor and education

滝 潤哉

中国人旅行者の日本に対するまなざし

— 中国から訪日観光 現状とその特徴 — 山田 知哉

EU拡大によるイギリスの移民政策の変化

中西 杏里

Chinese Migrants in Japan: Their Identity and Support Organizations

森川 彩未

アメリカ移民社会

イタリヤ系アメリカ人のアイデンティティ

井上 貴和

北京オリンピックと中国社会

— 観光と地域文化の創造及びその問題点 — 野々村春香

サッカーが与える日本への影響

丸山恵理子

Vancouver

高井 茉美

福祉国家としてのフィンランドの現状と将来への展望

小須賀紀子

日本の食の変化と肥満問題の繋がり

— 異文化に生きる子どもたちの新社会への適応 — 安村 恵

Korean English Education: The Society and the System

中川 沙織

「連合王国」としてのイギリス 歴史と現状

— 地域自立の視点から — 大島早百合

欧州各国サッカーの歴史とその背景に反映されるプレースタイル

— カタルーニャ・ナシヨナリズムと言語正常化 — 三宅 佳織

Problems of Industrial Training Program and Technical Internship Program

吉崎 裕海

フランスにおける日本漫画の影響

— 日本における多文化教育に向けての諸課題 — 新谷 由香

スペイン・カタルーニャの歴史と現状

— カタルーニャ・ナシヨナリズムと言語正常化 — 笠置 大樹

Japanese News Media Should be Re-organized

島 千晴

イギリスにおける外国人労働者とその雇用実態

— 医療・福祉現場を中心として — 速水 彩乃

イギリスの階級社会とその文化

— アフリカでの紛争と国際社会の関わり — 石井 美穂

化社会における共生)

テーマリサーチ型ゼミナール

LLクラス (世界の文化と多言語多文化社会における共生)

南米と西欧の関係から見る国際社会

— コカ・コカインをめぐる動き — 歌野 夏子

子育てしやすい社会へ

— 日本とフランスを比較して — 出口 陽子

アメリカ同時多発テロ以降の政策

佐藤 和代

映画作品でのジブシーの描かれ方から見る差別問題

— 地域間での影響の違いを中心に — 岡本 茉莉

テーマリサーチ型ゼミナール

LLクラス (心の心理学)

中国アニメの歴史と課題

松永 菜那

日本のODAの対アフリカ開発援助協力

— アメリカで暮らすアジア系移民 — 國府奈津子

スタンダールの恋愛論

— 解放学 — 空の思想と実践 — 鶴 理恵子

アメリカ外食産業の日本参入と日本の食文化への影響

森 静香

多民族社会ハワイの中の日系人

— オキナワン・コミュニティを中心に — 澁江 木綿

現代女性の化粧論

— 若年層の化粧行動と意識 — 本城 一樹

日本におけるフェアトレードの現状

畑山真奈美

オーストラリアへのアジア移民の増加によるオーストラリア社会の変容

— 日本でフェアトレード製品を普及させるには — 高橋 明子

デカルトの疑わなかったこと

— マズローの自己実現論 — 寛中 勝哉

熊崎 裕子

京都五花街の今昔

津田 歩美

出嶋 佳祐

三浦 良介

テーマリサーチ型ゼミナール
LQクラス（周縁からの都市論）

新しく創出される盛り場

—大阪・新町を事例として—

ラブホテル街の成立

—京都・岡崎を事例として—

京都競馬場運営における周辺地域との共生

—京都花街の側面—

島原遊廓の変遷

—京都花街の側面—

大阪湾臨海地域におけるアウトレットモールの立

地展開

No Wave

—ニューヨークの最期。70s - 80s—

闇市から商店街へ

—広島駅前愛友市場の変遷—

おもしろ!!?へんてこ!!新世界ガイド

織物業界における喫茶店の役割

—京都・西陣を事例として—

京都東九条地域の変遷とまちづくり

—京都東九条地域の変遷とまちづくり

地理学を用いた小説空間の広がり

テーマリサーチ型ゼミナール

LQクラス (Ecotourism)

Whale watching

Ecotourism and Japanese National Parks

守田真理子

Ecotourism and Rock Festival in Japan

西村奈那子

Ecotourism in Kochi

山崎 直樹

Ecotourism as Poverty Alleviation

井内 祥雄

—Laos—

Ecotourism in Costa Rica

Ecotourism in Fiji

Ecotourism in Hokkaido: a Case study

Ecotourism in Thailand

Ecotourism in Yakushima

Ecotourism in Ishigaki and Iriomote Island

Ecotourism Activities of National Park Service

and Sierra Club in National Park in the

United States

Tourism in Mt. Fuji

テーマリサーチ型ゼミナール

LSクラス（都市と村落の環境史）

バーチャル平安宮の構築

タケノコ生産地域の変容

—京都府乙訓地方を事例として—

琵琶湖湖岸域における土地利用の変化とその背景

—滋賀県西大津地域を対象に—

京都市中心部の戦後における京町家の減少過程

澤村 真佑

GISを用いた阪神大水害のマッピングと被害要

因の分析 谷端 郷

村落の空間構造に関する事例的研究

—山口県防府市小野地区を例に— 友景 菜夢

日本列島における河床低下の分布とその地域性

横山 夕佳

京都深泥池における環境利用の変遷と自然保護

山本 周平

テーマリサーチ型ゼミナール

LUクラス（情報科学技術による言語

諸学の展開）

日本人英語学習者のためのコア・イメージと対訳

を併用した前置詞の分析 浦谷 亮佑

—forの場合—

日本語非母語話者のためのリーダーダビリティ推定式

の提案 田和 鈴香

ヒット曲の日本語回帰現象に関する一考察

上谷 景子

現代敬語と業務教育との関連性 小林 真理

剽窃レポート作成過程に関する分析 石川 徹

英語圏の教科書に対する日本人英語学習者のリー

ダビリティの意識の調査 神戸有美子

日本語ラップにおける韻に関する一考察 小原千恵美

二二七

文章の稚拙さと文頭接続詞の関連性に関する計量的調査

テーマリサーチ型ゼミナール
LDクラス（中国映画と台湾映画を極める）

現代中国電影データベース
—二〇〇四年以降分—

学校英文法コーパスの構築

める）

—二〇〇四年以降分—

—中学検定教科を対象として—

新谷 公佑
加藤 孝幸

現代中国電影データベース

テーマリサーチ型ゼミナール

—二〇〇〇年—二〇〇一年分—

庄野 有美

テーマリサーチ型ゼミナール

LPクラス（もう一つの地球の歩き方）

—二〇〇〇年—二〇〇一年分—

山本真梨子

LDクラス（イベント企画）

Colors of New York

森 舞香

現代中国電影データベース
—台湾一九九八年以降分—

塩竈 千晶

二〇〇八年度イベント企画制作レポート
Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

テーマリサーチ型ゼミナール

現代中国電影データベース
—台湾一九九八年以降分—

田畑 道子

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

LCクラス（京都歴史回廊の新しいガイドブック）

—台湾一九九八年以降分—

下垣 悠

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

青戸麻記子

—台湾一九九八年以降分—

増井 萌希

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

辻 悠花

—台湾一九九八年以降分—

入吉 宏美

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

比嘉 圭介

—台湾一九九八年以降分—

大出麻由実

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

荒川 貴未

—台湾一九九八年以降分—

佐藤 郁未

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

京島 絵美

—台湾一九九八年以降分—

坂井 千絵

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

桑野 友成

—台湾一九九八年以降分—

浜田友衣子

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

斎藤 順

—台湾一九九八年以降分—

塚本 舞

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

林 朋香

—台湾一九九八年以降分—

久保 望美

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

原 彩花

—台湾一九九八年以降分—

柴関アヤ子

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

森田あゆみ

—台湾一九九八年以降分—

中藤 桂子

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

乗次 淳

—二〇〇二—二〇〇三年分—

慶徳 和彰

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

本多 皓二

—二〇〇二—二〇〇三年分—

村岡 悠至

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

豊田 あい

—二〇〇二—二〇〇三年分—

中村耕一郎

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

伊藤亜梨沙

Artong Project Vol.3「オヤロ DON!!」制作レポート

テーマリサーチ型ゼミナール
 LVクラス（韓流映画を解析する）

韓流ブームが在日コリアン社会に与えた影響

林 絵里子

多文化共生社会の構築に向けて

森本 隼裕

—韓国社会は「外国人」とどのように付き合っているのか—

なぜ韓国でネットが若者のコミュニケーションとして発達したのか またその影響について

鄭 多芸

創氏改名の戦後処理について

花山 貴志

韓流によって日韓の心情・意識はどう変化したか

茶谷 和哉

韓流ブームが在日コリアン社会に与えた影響

小林 直樹

「韓流ブーム」による日韓の意識・心情変化

長尾枝里子

韓流ブームが在日コリアン社会に与えた影響

吉田 敦

韓国女性はなぜ同性で手をつなぐ？

—ホモソーシャル性の観点から—

田中 奈緒

在日コリアンについて

鄭 袖衣

